

兄妹で障害者支援

大井陽司さん 美穂さん 施設開所

生まれ育った岩瀬地区でグループホームを開設した大井陽司さん(右)と美穂さんのきょうだい



岩瀬

富山市東岩瀬町に知的障害者を支援する「グループホームいいね」がオープンした。岩瀬地区で生まれ育った大井陽司さん(37)、美穂さん(35)きょうだいが空き家を改修して運営。定員4人と小規模で、家庭のような温かい場所を目指している。
(安多萌子)

グループホームは、高齢者や障害者が自立と社会参加を目指す、スタッフの援助を受けながら共同生活を送る施設。介護福祉士の資格を持ち、高齢者介護などの現場で働いた美穂さんが、富山市内に知的障害のある弟の存在もあつた陽司さんを誘って3月に開業した。

「アットホームな場所に」

た。「弟が自立できる場所があったらいい。ないなら自分たちが地元でつくる」と、家族に接するよう支援する施設を考えた。

現在、弟を含め男性2人が生活している。富山地方鉄道東岩瀬駅から徒歩約5分と交通の便に恵まれた場所柄、路面電車に乗ってそれぞれの就労先に向かっている。

岩瀬地区は、古い家屋が立ち並び住民との距離が近い。入居者がごみ出しや町内行事に参加することで、障害への理解が深まるきっかけにしたいと考えている。美穂さんは「障害を個性の『いいね』いいね」と認め合えるホームにしたい」と話す。

新型コロナウイルスの影響で在宅時間が増える中、障害者やその家族が将来の不安からストレスを感じやすくなっている。陽司さんは危惧する。8月には、南側に数百戸離れた同市岩瀬幸町にも空き家を活用した定員4人のグループホームを開く予定だ。陽司さんは「安心して暮らし、将来を見据えて自立できる施設を岩瀬から提案したい」と話している。

障害に関する相談や入居の問い合わせは大井さん、電話076(411)9217。